

# ちひろが描いた映画と音楽

2022年3月1日(火)～5月29日(日)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

主催：ちひろ美術館

協力：アイ・ヴィー・シー、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館



1-1, 風船と街へ出るバスカル 『あかいふうせん』(備成社)より 1968年



1-2, 踊るふたり 『ふたりのぶとうかい』(講談社)より 1968年

## 映画と音楽から読み解くちひろの絵本づくり

映画や音楽に若いころから親しんでいたいわさきちひろ。大正生まれのちひろは、娘時代に映画「オーケストラの少女」の女優ディアナ・ダーヴィンに憧れ、戦後間もなく疎開先から東京に戻ってからは、タップダンスの名手フレッド・アステアの映画を見て、下宿先の部屋でも毎日のようにレコードで彼の歌を聴いていたといいます。

ちひろの感性を豊かに育み、ときに心の支えになっていた映画と音楽は、画家となってからは、絵本の制作にも生かされました。ウェーバーのピアノ曲「舞踏への勧誘」をイメージしてつくられた絵本『ふたりのぶとうかい』では、音楽のメロディーやハーモニーを絵本のなかで描き出しています。また、ちひろの強い希望で同名のフランス映画を絵本化した『あかいふうせん』には、映画のようなカメラワークや場面展開が見られます。1960年代後半に集中して行われた映画や音楽を絵本化する試みは、ちひろの表現の幅を広げ、絵で展開する独自の絵本づくりにつながっていきました。

本展では、ちひろが好きだった映画と音楽を紹介するとともに、1960年代のちひろの絵本表現を映画や音楽との関わりから読み解きます。

展覧会名：ちひろが描いた映画と音楽  
ちひろ美術館コレクション わたしたちは集い、歌い、踊る

会 期：2022年3月1日(火)～5月29日(日)  
※会期は予告なく変更になる場合があります。  
○開館時間=10:00～17:00(3月は～16:00)  
○会期中の休館日=水曜日(祝休日開館、翌平日休館)  
※5/4(水)は開館、翌平日5/6(金)休館

料 金：大人900円/高校生以下無料  
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上、学生の方は700円/障害者手帳  
ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料/年間パスポート3000円



1-3, 道で踊るカーレン 『あかいみつ』(備成社)より 1968年

## 展覧会の見どころ ・ちひろが愛した映画と音楽を紹介

クラシック音楽やジャズを好み、アステアやビング・クロスビーが歌う劇中歌やロシア民謡を口ずさんでいたというちひろにとって、音楽は常に生活のなかにありました。また、アステア、チャールズ・チャップリン出演の映画や、詩情あふれるフランス映画を好み、その憧れは時を経て色あせることなく心に残り続けています。遺された映画雑誌やレコードなどとともに、ちひろの感性に深く結びついていた映画や音楽の数々を紹介します。

## ・幻灯「最後のつたの葉」を公開！

幻灯とは、絵や写真などに光を当て投影する、現在のスライドのようなもの。ちひろが描いたオー・ヘンリーの小説「最後の一片」の幻灯版をデジタル化して出品します。ちひろの戦後の仕事を知る貴重な資料をご覧ください。

## ・音楽とともに絵本の世界を楽しむ

チャイコフスキー音楽を絵本化した『はくちょうのみずうみ』や、ウェーバーのピアノ曲「舞踏への勧誘」から着想を得た絵本『ふたりのぶとうかい』を、楽曲を聴きながら楽しめるコーナーを設けます。ちひろの絵本と音楽の調和をお楽しみください。



1-4, オデッタ姫 『はくちょうのみずうみ』(講談社)より 1967年

出展作品数 約70点

主な出展作品 『はくちょうのみずうみ』(世界出版社、改訂版 講談社)より 1967年/『あかいくつ』(偕成社)より 1968年/『あかいふうせん』(偕成社)より 1968年/『ふたりのぶとうかい』(学習研究社、改訂版 講談社)より 1968年/『あめのひのおるすばん』(至光社)より 1968年

図版について 本リリリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。 ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



1-5, 窓ガラスに絵をかく少女  
『あめのひのおるすばん』(至光社)より 1968年



1-6, バラのなかで踊るふたり 『ふたりのぶとうかい』(講談社)より 1968年



2-1, 荒井良二(日本) 『ユックリとジョジョニ』(ほるぶ出版)より 1991年

ちひろ美術館コレクション

## わたしたちは集い、歌い、踊る

2022年3月1日(火)～5月29日(日)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

主催：ちひろ美術館

### 今 響き合うよろこびを感じて

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、わたしたちは自由な行動や表現だけでなく、人と会うことまで制限されてきました。行きたいところに行き、歌を歌い、友だちと話をしながら食事をしたり、たくさんの人とともにイベントを楽しむ。それがどんなにしあわせで大切な時間なのかを実感しました。

本展では、ちひろ美術館コレクションのなかから、お祭りやパレード、さまざまな楽器を奏でるコンサートなど、世界の絵本画家たちが描いた高揚感あふれる作品を展示し、集うことの尊さ、歌い、踊ることのよろこびを見つめます。



2-2, スズキコージ(日本) やまのディスコティック 2013年

## 展覧会の見どころ ・歌い、踊る

バラライカに魅せられたねずみのサクセスストーリーを描いたジョン・バーニングガムの『バラライカねずみのトラブプロフ』やクヴィエタ・パツォウスカーの音符シリーズ、妖精たちが踊る岡本帰一の「月夜の精」や初山滋の「はるのはこび」などを展示します。絵が動き出すような躍動感をお楽しみください。

## ・祭り

田島征彦の『祇園祭』や茂田井武の「こんやはよみや」、赤羽末吉が日本各地の伝統的な祭りのようすを描いた作品(初公開)など、祭りのにぎわいや歓声が聞こえてくるような作品を紹介します。



2-3, ジョン・バーニングガム(イギリス)  
『バラライカねずみのトラブプロフ』(ほるぶ出版)より 1964年

## ・荒井良二の『ユックリとジョジョニ』とインスタレーションも！

アコーディオンをひくユックリと、ダンスが得意なジョジョニが出会う『ユックリとジョジョニ』の原画とともに、2003年に安曇野ちひろ美術館で制作した塔のインスタレーションも展示します。絵本から飛び出したような楽しい空間をぜひご覧ください。

出展作品数 約 70 点

主な出展作品 荒井良二(日本)『ユックリとジョジョニ』(ほるぶ出版)より 1991年/シビル・ウェッタシンハ(スリランカ)『かさどろぼう』(福武書店)より 1986年/ジョン・バーニングガム(イギリス)『バラライカねずみのトラブプロフ』(ほるぶ出版)より 1964年/クヴィエタ・パツォウスカー(チェコ)家の音符 1989年/岡本帰一(日本)月夜の精(印刷物) 1920年/田島征彦(日本)『祇園祭』(童心社)より 2016年 ほか

## 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。  
※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



2-4, クヴィエタ・パツォウスカー(チェコ) 家の音符 1989年



2-5, 岡本帰一(日本) 月夜の精(印刷物) 1920年



2-6, 茂田井武(日本) こんやはよみや 1956年



2-7, 荒井良二(日本) 『モンテロソのピンクの壁』(ほるぶ出版)より 1992年

## ちひろが描いた映画と音楽 展示関連イベント

## ちひろが愛した映画上映会

4月17日(日) 午前の部11:00～ / 午後の部 14:00～  
「ちひろが描いた映画と音楽」展に関連し、若き日のいわさきちひろが愛した映画の上映会を開催します。  
※DVDによる上映です。

## ■午前の部 「トップ・ハット」

監督：マーク・サンドリッチ  
出演：フレッド・アステア ジンジャー・ロジャース ほか  
1935年(アメリカ) 上映時間：99分 日本語字幕付き  
ダンスの王様アステアとダンスの女王ロジャースによるミュージカル映画の傑作。フレッド・アステアの華麗なダンスに魅せられて、若き日のちひろは映画館に通い詰めました。

## ■午後の部 「しのび泣き」

監督：ジャン・ドラノワ  
出演：エドヴィージュ・フイーエール ジャン＝ルイ・バロー ほか  
1945年(フランス) 上映時間110分 日本語字幕付き  
身分違いの恋に落ちた男女の物語が詩情豊かに描かれるフランス映画の傑作。  
ちひろの絵本『あめのひのおるすばん』誕生のきっかけとなった映画です。

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー 参加費：無料(入館料別)  
定員：各回30名 申し込み：要事前予約(公式サイト/TEL.にて)



いわさきちひろ 水の上で踊るふたり『ふたりのぶとうかい』(講談社)より 1968年

## そのほかのイベント

## ◆開館記念日(2022年は開館25周年！)

ちひろの心のふるさと、信州・松川村に当館が開館して、今年で25年目となります。  
開館記念日の4月19日(火)にご来館の方全員に、ポストカード(非売品)をプレゼントします。

## ●あかちゃんとお出かけしよう!ファーストミュージアムデー

3月5日(土)10:30～11:30  
会場：安曇野ちひろ美術館  
対象：0歳から2歳の子どものとその保護者  
参加費：無料(入館料別) 定員：親子10組  
申し込み：要事前予約(公式サイト/TEL.にて)

ファーストミュージアムとは、生まれてはじめて訪れる美術館。0歳から2歳のお子さんとともに、あかちゃん絵本のおはなしの会や、開催中の展覧会「ちひろが描いた映画と音楽」のガイドツアーなど、安曇野ちひろ美術館を親子でゆっくり楽しみましょう!



## ●3月6日(日)松川村民感謝デー

## ●3月13日(日)長野県民感謝デー

日ごろの感謝を込めて、長野県および松川村にお住まいのみなさまをご優待します。

## ●絵本のじかん

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30  
季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。

## ●安曇野ちひろ公園 イベント情報

3月27日(日)9:30～15:00(予定)  
問い合わせ：松川村役場経済課商工観光係 TEL.0261-62-3109  
松川村の春を彩る「まつかわ花咲きまつり」を開催します。  
いわさきちひろの作品を色とりどりのバンジーで表現する地上絵やバンジーの即売会、模擬店、マルシェの出店もあります。



いわさきちひろ はなぐるま 1967年

上記のイベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。

最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp

お問い合わせ 安曇野ちひろ美術館 広報担当 むなかた たなべ 宗像・田邊・畔柳  
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24  
TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774  
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp